

集会案内

日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール: sugimura1950@gmail.com

○石叫▽ 「ホーリネスは愛である」 ②

本教団は、今や日本語部・英語部合わせて二〇〇〇名を越える群れとなり、北米日系人教会としては最大規模を誇る教団へと成長するに至っている。

一、「ホーリネスは神の愛に生きる」

一九三五年、北米ホーリネス教会は日本ホーリネス教会から独立したが、終戦直後まで監督とし本教団を導いたのが葛原定市であった。彼は戦時中、強制収容所から解放された日系人が多く集まったシカゴに、「シカゴ・レークサイド教会」を建てたのであるが、ここで、定市の長男・千秋が語った一つのエピソードを紹介しよう。「シカゴでのことです。父がちょうど百才を迎えた一九八六年に、特に、私たち5人の男の兄弟を集めて話したいことがあると言ったのです。何事かと思ひ、父の部屋に集まりますと、父は一人の子の手を取って、『これまで私は牧師として忙しく、父としてお前達に満足なことをして上げられなかったが、そんなお父さんを赦してくれないか』と言いはじめたのでした。私は百才の父の、心から赦しを請う姿を見て、この人こそホーリネスを生きた人なのだと思ひました。ホーリネスとは何も、私はきよくて、あなたはまだきよくないと行って相手を裁くことではありません。それは神の前にも、人の前にも、謙虚に生きてゆこうという真実な生き方なのではないでしょうか。」

定市は一人ひとりを前に頭を垂れ、その子が「お父さん、赦すよ」と言うまで子の前を離れなかった。子供といっても七十才代である。主のご用のために脇目も振らず伝道して来た定市には、父親として十分な時間を取ることができず、信仰すら十分に継承できなかったという悔いがあった。定市はその痛みを百才に至るまで抱えてきたのだった。彼には家族のことより伝道によって一人でも多くの魂を救うことが急務だった。子供たちを前に頭を垂れる姿は砕かれた魂そのものであり千秋の言うように真実そのものだった。

さらに、千秋は二〇〇一年の教団総会の席上で、四重の福音に「愛」を加えようという提案をした。お互いに愛し合うことこそが、北米ホーリネス教団のあるべき姿ではないかと言うのである。それはコロサイの教会に、「これら一切のものの上に、愛を加えなさい。愛はすべてを完全に結ぶ帯である」(三・14)

Rev. Tsukasa Sugimura

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。現在は、榊原宣行牧師の監督のもと、杉村宰牧師と啓子師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と、信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの折り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。